

## 白庭台防災だより(2022年6月号)

白庭台自主防災会  
2022.6.1

「白庭台地区防災計画」は、白庭台で想定される災害と被害を明らかにし、その予防と災害時の対応を定めたものです。

そして、災害時の対応で最も重要なことは「共助」です。今月の防災だよりではこの「共助」についてご説明します。

広域な大地震が発生した直が、警察や消防といった「公助」は、限界があります。

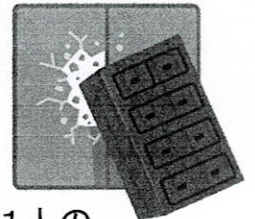


阪神淡路大震災で、家屋の下敷きになって救出された人の大半は、家族または近隣の方によるもので、警察や消防といった公的な機関に救助された方はごくわずかです。こういったことから共助の大切さがわかります。

また、白庭台は新興住宅地ですので、近隣の方でも面識がないという特徴があります。マンションにいたっては表札もなく、顔を合わせることもない方もいます。

白庭台地区防災計画では、大地震が発生した場合は、面識のあるなしにかかわらず、自治会の組織(班やブロック)での組織だった対応を行うことになっています。

安否確認については、無事なご家庭は安否確認タオルを掲げ、タオルを掲げていない住居の安否確認を、面識のあるなしにかかわらず、「班単位」で行います。仮に、みなさんが被害者になった場合でも、班のだれかが助けにきてくれるという仕組みを設けています。



また、マンションの上層階の負傷者は、阪神淡路大震災の例では、4人に1人の方の負傷が予想されます。

これに対し、下層階の方の家具転倒率は低く、負傷者はほとんど発生しませんので下層階の方が上層階の方の負傷者の発見にあたるという仕組みを設けることも必要です。

大地震発生の場合は、みなさん自身が負傷され、救出を待つということも考えられます。ご家族の無事が確認できたところは、無事というタオルを掲げ、同じ班の方の安否確認を行い、救出が必要な方に対しは、周囲と協力して救出にあたってください。

白庭台は、周辺の旧村と比べると人間関係が希薄ですが、自治会組織をベースにした共助で災害時の的確な対応を目指したいと考えています。

白庭台地区防災計画説明動画(約20分)

◎ユーチューブで視聴

<http://youtu.be/M5WfjuWV2A>

◎白庭台自治会ホームページで視聴

<http://shiraniwadai.jp/>

※白庭台自治会の文字検索も可

